

市内児童 17.8 万人の環境行動が、タジキスタン共和国の小学校における植樹と宮城県海岸林再生につながりました！ <5 年間の成果報告>

2016年 夏 こども「エコ活。」大作戦！開始

【特長 1】市内公立小学校 3~6 年生が、夏休み中に環境行動に取り組む

【特長 2】小学生の取り組みを応援する企業が協賛

【特長 3】協賛金は、①国連 WFP 協会を通しフィリピン(ミンダナオ島)の植樹活動へ★新規

②(公財)オイスカを通し、宮城県の海岸林再生プロジェクトへ継続

★今年度は、環境行動の普及啓発に継続的にご協力いただいている横浜 DeNA ベイスターズの選手から、こども達へ「エコ活」応援メッセージを頂いています！

【5 年間(平成 23 年度~27 年度)の事業成果】

小学生が環境行動に取り組むことで国内外の環境保全活動につなげる本事業(平成 16 年度開始)において支援した、タジキスタン共和国の植樹プロジェクトが 5 年間で完了しました。また、東日本大震災の被災地支援として始まった宮城県への支援成果がまとまりました。

参加人数	178,114 人	協賛金	566 万円
タジキスタン共和国 植樹本数	112,000 本 (日本からの支援全体)	宮城県の海岸林植栽	131,416 本 (プロジェクト全体)

<タジキスタン共和国の学校で果樹植樹>

【支援機関】国連 WFP

【概要】小学校で、児童や地域の人々が、専門家や学校の先生と一緒に果樹を植え、育てる活動を支援しました。果実は、学校で食べるだけでなく、売却して、給食用の設備を作る経費にあてることができました。また、樹木を育てることで、環境を大切にすることの重要性を認識してもらうことにつながりました。

【平成 23 年度~27 年度日本からの支援実績】

- ・植樹完了本数 112,000 本
- ・植樹実施学校数 204 校

<宮城県海岸林再生プロジェクト>

【支援機関】公益財団法人オイスカ

【概要】東日本大震災による大津波で被害を受けた宮城県名取市での海岸林再生を支援しました。防風、防砂、防潮、防霧などの機能を発揮する海岸林の再生は、市民生活はもちろん農業の復興に不可欠であり、2033 年までに 100ha の育林を目指し、取組が進められています。

【平成 23 年度~27 年度プロジェクト実績】

- ・植栽完了本数 131,416 本
- ・植栽完了面積 25.49ha
- ・総雇用数 3,647 人(8 時間/日人)



Yokohama Eco-kids Campaign
の協力による取組と記載



被災直後

現在

<平成 28 年度からの支援>NEW!

フィリピン南部に位置するミンダナオ島ではさまざまな自然災害が頻発しており、その多くは違法な伐採や、排水不良などの人為的な問題により悪化しています。ミンダナオ島の環境保全に役立つ、以下の活動に対して、こども「エコ活。」大作戦!で支援を開始します。

【苗畑を作る】環境に適した、多様な原産の樹種の苗を育てるための畑を作ります。

【マングローブ植樹】沿岸地域に、海洋生物の繁殖地となるマングローブ林を復元させます。

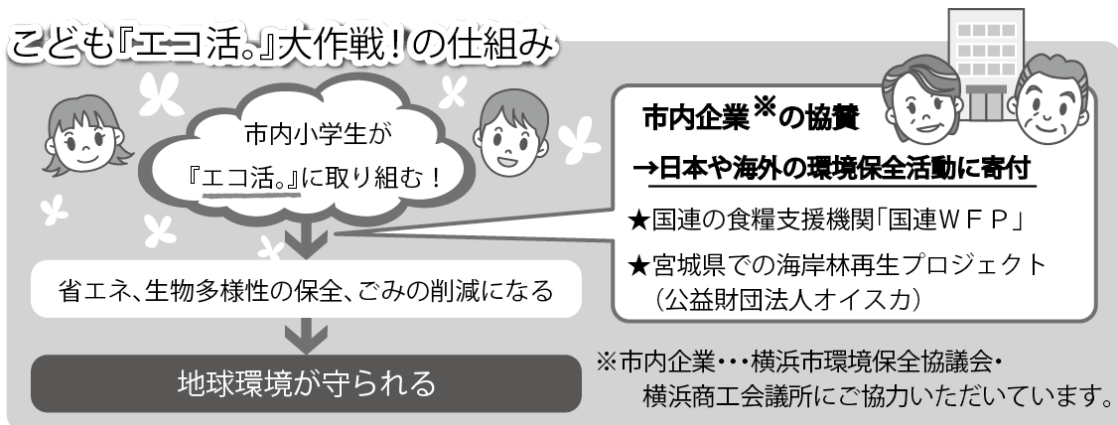
【竹の植樹】低地に竹を植えることで、土地を安定させ、洪水被害から農地を守ります。

【雇用の創出】1か月に10日間活動に参加した1家族当たり、お米50キログラム、または42ドルを報酬として提供します。

【事業の仕組み】

夏休み中に市内小学生(3~6年生)が、エコライフチェックシートを使って環境行動にチャレンジします。その取組を企業が応援し、協賛金が国内外の環境保全活動に寄付されます。

こども『エコ活。』大作戦!の仕組み



<2015年度 結果発表会>

事業の詳細や実績については、ホームページに掲載しています。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/ondan/kids/>

お問合せ先

- こども「エコ活。」大作戦!については、
環境創造局政策課環境プロモーション担当課長 小川 久美子 Tel 045-671-3830
- 協賛金、宮城県海岸林再生プロジェクトについては、
横浜市環境保全協議会 事務局 神崎 雄介 Tel 045-671-7470
- タジキスタン共和国およびフィリピンでの植樹活動については、
国連WFP協会 事業部 井戸 みゆき Tel 045-221-2515

あなたの毎日に、エコをプラスしよう。

Yokohamaエコ活。